

国際農業連携活性化特別対策事業（継続）

【126（136）百万円】

対策のポイント

中南米諸国等で活躍している日系農業者等との連携を双方の農業者組織の交流を通じて活性化させることにより、日系農業者等の経営改善を図るとともに、我が国農業の活性化及び国際協調の促進を図ります。

- ・ 中南米諸国には、戦後海外移住し、現地で活躍している日系農業者が多数存在しており、なかでもブラジルでは約19万人が活躍し、日系農協も50以上組織されています。
- ・ 日系農業者については、高齢化が進む一方で、二世・三世世代の若い優秀な経営者も生まれてきており、希薄になりつつある日本との絆の再構築が求められています。

政策目標

中南米諸国等との民間ベースの連携を通じた日系農協等の活性化による両国間の連携強化

- ・ 日系農協等の中核となる人材の育成
- ・ 日伯農協連携によるアグリビジネスの創出

<内容>

1. 農業技術開発支援事業

ブラジルの農業技術普及交流センターにおいて、日系農業者の研究・技術指導に関するニーズを踏まえた試験研究を行うとともに、国内外の試験研究機関等との共同研究体制の整備、現地農業者等を活用した農業技術の効果的な普及システムの構築を行います。

2. 農業技術普及交流事業

地域リーダーとなり得る日系農業者の育成に向けた研修等を実施するとともに、専門家の派遣、異業種交流会の開催、農業援助資金に対する利子補給等を通じ、日系農業者の経営改善を行います。

3. 農業情報受発信事業

試験研究成果や現地の取組事例等のデータベース化を図るとともに、現地の状況を踏まえた多様な媒体を活用した情報発信を行います。

4. 二国間農協連携促進事業

我が国とブラジル日系農協等との連携を核としたアグリビジネスの事業化に向けた、事業化可能性調査の実施及び販路開拓等に対する支援を行います。

<事業実施主体等>

1. 事業実施主体 全国拓植農業協同組合連合会（JATAK）
2. 補助率 定額、1／2以内
3. 事業実施期間 平成18年度～平成22年度

担当：農村振興局都市農村交流課

青木、小野寺（03-3502-5948（直））